

事務事業評価シート

事務事業コード	011700	重点施策	しごとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	企業誘致推進事業		所属名	経済観光部 企業立地・支援課	

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2102	工業の振興			
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		32件	75件	運営方法	直営
	企業誘致の数		2件	20件	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	企業誘致推進費			予算事業コード	01-06-01-02-17-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市内の既存企業やその関連企業、鳥取市へ誘致できれば大きな経済波及効果をもたらす県外優良企業等
意図 (どのような状態 にするために)	本市への企業立地の促進による産業構造の高度化及び雇用の拡大や、地元企業の生産性向上につながる支援
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携を取りつつ、県外優良企業へ訪問し誘致活動を行う。 市内企業を訪問し、増設案件の掘り起し。 多数の企業が参加する展示会にブースを出展し、アピールを行う。 企業立地ガイドを作成し、市のPRを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	
	年度別実績	①企業実績数 市内:述べ270社 市外:述べ82社 合計:述べ352社 ②関西機械要素技術展 出展 ③平成28年度立地ガイド作成					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	24,676	0	0	0	0	
	直接経費 A	24,676	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,676	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	【KPI】補助事業指定企業件数	件	目標	30	45	60	75	0	
				実績	32	0	0	0	0	
	(指標の説明) 平成27年度以降の補助事業指定企業件数の累計値。基準値は平成26年度単年度実績。									
	2	企業誘致数	件	目標	2	2	2	2	2	
				実績	2	0	0	0	0	
	(指標の説明) 単年度あたりの誘致企業数。									
3			件	目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 誘致・支援係 0857-20-3223
	【10次総の施策体系】 2102
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P126（経034） 12月補正・P18（経002）
	【事業の概要】 本市産業の発展及び雇用の場の確保のため、本市への企業立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図り、鳥取市経済活性化戦略にある雇用拡大や地元企業の発展につながる新たな企業誘致の実現に向けて取り組む。
	【事業の成果】 企業誘致及び設備投資を推進するため、鳥取県等関係機関と協調して、首都圏・中京圏・関西圏の企業訪問を積極的に実施し、本市への企業進出を働きかけた。また、市内企業を訪問し、増設案件に対し支援を行った。 企業誘致数 平成26年度：4件 平成27年度：3件 H28年度：2件 企業立地促進補助金指定件数（市内企業の増設含む） 平成26年度：20件 平成27年度：17件 平成28年度：15件
【今後の課題・方向性】 国内景気は回復傾向にあり、鳥取県東部の平成29年3月の有効求人倍率は1.39倍と、全国平均を下回っているが順調に改善されている。生産工程の職業の有効求人倍率は1.11倍、正社員の有効求人倍率は0.71倍と上昇傾向にある。今後の誘致活動については、市内企業への受発注を生み出し経済波及効果の大きい企業や、高付加価値を生み出す企業を選定する。同時に市内企業の労働生産性向上の支援を行い、誘致企業と市内企業による均衡のとれた経済発展を促す。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】補助事業指定企業件数	107%				
	2	企業誘致数	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	積極的な訪問活動を行い、①複数の県外優良企業に誘致活動を展開②市内企業の増設案件がないか聞き取りを行った。また、作成した立地ガイドについては誘致の際に活用した。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	数よりも質の企業誘致への転換による誘致数の減少があるなか、市内に本社を置く中小製造業向けメニューの創設による市内企業の増設が増え、単年度あたり15件の目標指定件数を満たすことができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>地震を初めとした自然災害に対するリスク分散のため、BCP(事業継続計画)が全国で図られている。この動きをとらえるべく、引き続き関係機関と連携し効果的な誘致活動を展開する。また市内の企業に対しても、平成28年10月に創設した労働生産性向上に向けた補助制度を活用し、産業の高度化を促していきたい。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	011801	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	工業団地整備・検討事業(河原インター山手工業団地)		所属名	経済観光部	企業立地・支援課	

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち	事業期間	平成24年度 ~ 平成28年度	
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ	根拠法令、 根拠計画等		
施策	2102	工業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度		
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		32件	75件	事業分類区分	建設、整備
	企業誘致の数		2件	20件	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	河原インター山手工業団地整備事業費		予算事業コード	01-06-01-02-17-17	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	企業、市民
意図 (どのような状態 にするために)	本市の企業立地を促進し、産業構造の高度化および雇用機会の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	企業が立地できる新たな工業団地を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①工業団地整備	①工業団地整備(繰越 工事) ②企業誘致				
	年度別実績	①工業団地整備 ※工事が完了せず翌年 度繰越とした。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	288,583	0	0	0	0	
	直接経費 A	288,583	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	178,500	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	110,083	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	誘致企業件数	件	目標	0	1	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 工業団地整備係 0857-20-3225</p> <p>【10次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P129（経039）</p> <p>【事業の概要】 河原インター山手工業団地整備</p> <p>【事業の成果】 平成26年度 93,476千円 上下水道工事 平成27年度 273,442千円 上下水道工事 平成28年度 280,472千円 上下水道工事 (翌年度繰越額 46,468千円 上下水道工事)</p> <p>【今後の課題・方向性】 企業の事業計画に迅速に対応していくため、団地整備の早期完成をめざし、機を逸することなく企業誘致につなげていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	誘致企業件数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	想定を越える地層の変化(岩盤層の出現)により、作業効率が悪化したことで、スケジュールどおり完了できなかった。(繰越)
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	立地条件の優れた団地を整備することにより、誘致折衝を行う上で他の競争相手に対し有利に進めることができる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>現場条件の変化によって整備スケジュールに遅れが生じ、残工事を翌年度へ繰り越すこととなったが、フォローアップした工程どおり整備は進捗している。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	011802	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	工業団地整備・検討事業(布袋工業団地)		所属名	経済観光部 企業立地・支援課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成29年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2102	工業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		32件	75件	運営方法	直営
	企業誘致の数		2件	20件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	布袋工業団地整備事業費			予算事業コード	01-06-01-02-17-18

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	企業、市民
意図 (どのような状態にするために)	本市の企業立地を促進し、産業構造の高度化および雇用機会の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	企業が立地できる新たな工業団地を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①工業団地整備	①工業団地整備 ②企業誘致				
	年度別実績	①工業団地整備					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,411,831	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,411,831	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	178,126	0	0	0	0
		地方債	1,055,300	0	0	0	0
		その他	130,700	0	0	0	0
一般財源		47,705	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	誘致企業件数	件	目標	0	1	1	0	0	
		実績		0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 工業団地整備係 0857-20-3225</p> <p>【10次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P129(経039) 6月補正・P15(経004)</p> <p>【事業の概要】 企業立地を押し進め、雇用機会の拡大を図るため、新たな工業団地を造成する。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 273,442千円 上下水道工事、雨水排水管工事、造成工事 インフラ設計 平成28年度 1,298,636千円 上下水道工事、雨水排水管工事、造成工事、道路工事 洪水調整池工事 (翌年度繰越 145,589千円 上水道工事、雨水排水管工事)</p> <p>【今後の課題・方向性】 現在は、企業進出が決定して造成を行っているが、企業の事業計画に迅速に対応していくため、団地造成の早期完成を目指す。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	誘致企業件数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	雨水排水管工事において、地域住民の方への負担が軽減される工法へ変更したことにより、その準備に不測の期間を要したため、スケジュールどおりに完成しなかった。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	立地条件の優れた団地を整備することにより、誘致折衝を行う上で他の競争相手に対し有利に進めることができる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>工法変更によりスケジュールどおりに完成しなかったが、フォローアップした工程どおりに事業は進捗しており、平成29年度も遅滞なく事業は進捗している。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	011900	重点施策	しごとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	スマートエネルギータウン構想推進事業		所属名	経済観光部	経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2102	工業の振興			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		32件	75件	運営方法	補助金交付
	企業誘致の数		2件	20件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	スマート・エネルギー・タウン構想推進事業費			予算事業コード	01-06-01-02-41-07

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域、市民、市内のエネルギー企業
意図 (どのような状態 にするために)	地域に存在する再生可能エネルギーを活用することにより、エネルギーの地産地消(自立性向上)を推進し、地域に根ざしたエネルギー産業の振興と雇用創造につなげ、地域内で資源と資金が循環するしくみをつくる。
手段 (どうするのか)	産学官連携してメガソーラー、バイオマス、マイクロ水力、エネルギーマネジメントシステムの普及を推進するとともに、環境・エネルギー分野での積極的な事業展開を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する
年度別実績	①地域エネルギービジネス支援事業補助金 活用事業者:3件						
	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)	9,068	0	0	0	0	
	直接経費 A	9,068	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,068	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	[KPI]実施事業	件	目標	3
			実績	3	0	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【10次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P115（経011）</p> <p>【事業の概要】 産学金官連携して地域主導によるエネルギー産業の創出・育成を図り、地域の資源・資金を活用して地域経済循環創出を図る。また、環境・エネルギー分野で積極的な展開を図ることにより、地域産業の振興や雇用の創造を図る。</p> <p>【事業の成果】 1 「株とっとり市民電力」が、平成28年4月から市有施設75施設に電力供給を開始。 2、600千円の電力料を削減。平成28年12月から一般家庭向け電力販売を開始。 東郷太陽光発電所の運用開始により「株とっとり市民電力」の地元調達割合が約50%に向上。 2 地域エネルギービジネス支援事業補助金により、新たに3社がエネルギービジネスを開始。 3 官民連携により支援してきた木質バイオマス発電事業が平成29年1月に運用開始。</p> <p>【今後の課題・方向性】 エネルギーを地域で生み出し、地域で活用する「エネルギーの地産地消」を推進することにより、人口減少の歯止めや災害時を見据えた安全・安心なまちづくり、地域エネルギー産業の活性化、地域経済の好循環、雇用の創出など、地方創生を進める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	(KPI)実施事業	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>(株)とっとり市民電力の地元調達割合を今後も向上させるために電源開発を促進する。また、とっとり環境エネルギーアライアンス合同会社や地域エネルギービジネス支援事業補助金などの仕組みを活用し、既存エネルギービジネスや新規エネルギービジネスの振興を促進するとともに、地元にある再生可能エネルギー資源の発掘と地域内の発電事業者・電力消費者をつなぐ取り組みにより「エネルギーの地産地消」を一層進める。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	012000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	中小企業等支援事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけの 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2102	工業の振興				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		32件	75件	運営方法	外部委託
	企業誘致の数		2件	20件	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	中小企業等支援事業費			予算事業コード	01-06-01-02-55-06

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中小企業者
意図 (どのような状態 にするために)	中小企業への支援と地域経済の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取県中小企業団体中央会へ委託し、中小企業の課題である企業間連携、経営革新、新事業展開、農商工連携、人材育成などの事業やセミナーの開催等を支援し、組織の強化と地域産業の振興を図っていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	
	年度別実績	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等) 実績:13回					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	800	0	0	0	0	
	直接経費 A	800	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	800	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	実施事業数	回	目標	15	15	15	15	0	
				実績	13	0	0	0	0	
	(指標の説明) セミナー等の開催数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 商業振興係 0857-20-3222</p> <p>【10次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P124（経029）</p> <p>【事業の概要】 本市の大部分を占める中小企業の活性化や、次世代リーダーの育成支援、地域資源活用、農商工連携による新商品開発、販路開拓などを積極的に支援し、組織の強化と地域産業の振興を図るため鳥取県中小企業団体中央会に委託し研修会や支援事業を行う。</p> <p>【事業の成果】 委託先 鳥取県中小企業団体中央会 平成26年度 17回 平成27年度 17回 平成28年度 13回</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き委託し、中小企業を対象とした事業を支援する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	実施事業数	87%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	目標値を下回ったが、研修等は企業の希望通りに実施されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

変化する経済情勢に対応するため、地域の活力となる中小企業に対して継続的な支援を行っていく。

事務事業評価シート

事務事業コード	012100	重点施策	しごとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ビジネスマッチング支援事業		所属名	経済観光部 企業立地・支援課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則、鳥取市ビジネスマッチング支援事業補助金交付要綱
施策	2102	工業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		32件	75件	運営方法	補助金交付
	企業誘致の数		2件	20件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ビジネスマッチング支援事業費			予算事業コード	01-06-01-02-32-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内中小企業
意図 (どのような状態にするために)	商品、製品、技術等の販路開拓を行うことにより、新たな販売ルートを開設し、市内中小企業の販売力及び競争力を向上させる
手段 (どうするのか)	自社の商品、製品及び技術等を売り込むため、国内外の展示会等への出展事業に要する経費の一部の補助を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	平成29年度 ①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	平成30年度 ①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	平成31年度 ①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	平成32年度 ①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	
	年度別実績	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付 13件 内訳 展示会 13件 (うち新規7件)					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	直接経費	事業費(A+B)	3,727	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳	国・県	3,727	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,727	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		[KPI]販路拡大展示会参加企業支援	社	目標	21	42	63	85	0
		(指標の説明) 出展会・商談会への参加に要する経費の支援を行った件数。	実績	13	0	0	0	0	
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		[KPI]販路拡大展示会参加企業支援(うち海外出店)	社	目標	6	12	18	25	0
		(指標の説明) 海外の出展会・商談会への参加に要する経費の支援を行った件数。	実績	2	0	0	0	0	
	3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
(指標の説明)			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223</p> <p>【10次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初・P130（経041）</p> <p>【事業の概要】 自社の商品、製品及び技術等を売り込むため、国内外の展示会等への出展に要する経費の一部を補助する。</p> <p>【事業の成果】 中小企業者の販売力及び競争力を向上させ、本市の産業振興を図るため、中小企業等が行う商品、製品、技術等の販路開拓事業を支援した。 <補助件数> 平成26年度 25件（HP作成9件含む） 平成27年度 13件 平成28年度 13件</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度は要綱の改正を行い、対象となる業種の見直しを図るとともに、限度額の改正を行い、交付回数の限度を平成29年度以降新たにカウントすることとした。今後は新規に利用する企業に加え、過去に利用し終えた企業も併せて支援していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】販路拡大展示会参加企業支援	62%				
	2	【KPI】販路拡大展示会参加企業支援(うち海外出店)	33%	33%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	企業に対する営業に積極性が不足していたため、計画通りのスケジュールで完了できなかった。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	企業に対する営業に積極性が不足していたため、年度目標値を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成28年度は13件の支援のうち、2件が海外への展示会出展であった。展示会等に出展した企業が取引を成立させ、一定の効果を得られており、中小企業の販路拡大に貢献していることから、継続して補助事業を実施していく。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	012200	重点施策	しごとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	環日本海経済交流推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち	事業期間	平成25年度 ~ 全期	
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	2102	工業の振興			
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度		
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		32件	75件	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業誘致の数		2件	20件	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国際経済交流推進事業費		予算事業コード	01-06-01-02-41-20	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	海外でのビジネスを検討している市内企業・事業者及び経済観光団体
意図 (どのような状態 にするために)	環日本海地域ほか海外における貿易振興、観光客誘致
手段 (どうするのか)	貿易に関する相談窓口等サポート、貿易支援機関から収集した情報提供、海外への商談会・フェアへの出展

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①環日本海諸国との経済交流の推進	①環日本海諸国との経済交流の推進	①環日本海諸国との経済交流の推進	①環日本海諸国との経済交流の推進	①環日本海諸国との経済交流の推進	
	年度別実績	①交流事業 ?中国延吉・図們江地域国際投資貿易フェア出展 ?環日本海拠点都市会議(韓国東海市)鳥取市広報館出展・PR事業 ?中国延辺朝鮮族自治州交流職員研修受入 ?食品輸出『入門』セミナーなど					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	14,784	0	0	0	0	
	直接経費 A	14,784	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	14,784	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	[KPI] マッチング支援件数	件	目標	160	240	320	400	0	
				実績	194	0	0	0	0	
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。									
	2				目標	0	0	0	0	0
実績					0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【10次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P116（経013）</p> <p>【事業の概要】 鳥取市環日本海経済交流センターの運営を行い、地元企業の貿易相談、翻訳・通訳業務、経済・観光講習会の実施、海外企業とのマッチング、国際観光の支援、市民交流等を実施。中国延吉・図們江地域国際投資貿易フェア出展、環日本海拠点都市会議（韓国東海市）鳥取市広報館出展・PR事業、中国延辺朝鮮族自治州交流職員研修受入、食品輸出『入門』セミナーなど</p> <p>【事業の成果】 1 鳥取市国際経済発展協議会が運営する環日本海経済交流センターでの貿易相談・サポート、外国関係者・機関等とのマッチング及び翻訳・通訳業務支援等の実施 2 ロシア沿海地方友好交流25周年に際してチャーター便でロシアウラジオストク市訪問 3 中国延吉・図們江地域国際投資貿易フェア出展 4 環日本海拠点都市会議（韓国東海市）鳥取市広報館出展・PR事業 5 環日本海等アンテナショップ支援事業により2件のアンテナショップ運営を支援</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成22年8月にロシアウラジオストク市、平成24年9月に中国延辺朝鮮族自治州と経済交流を促進する覚書を締結するとともに、市内企業、経済・観光団体、貿易関係機関、金融機関及び県・市等との緊密な連携のもとに、平成25年4月に「鳥取市国際経済発展協議会」を設立し、「環日本海経済交流センター」を開設した。 当センターにおいて、ロシア・中国・韓国のコーディネーターを配置し運営を行うことにより、市内企業の貿易相談・サポート、外国機関等とのマッチング・海外展開支援を行うことは重要であるが、海外でのアンテナショップの支援については成果が十分とは言えず、見直しが必要。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】マッチング支援件数	121%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>海外展開支援による市内企業の販路拡大による経済活性化が図られているとともに、産学金官が緊密な連携を図り取り組んでいる。今後もより多くの企業をサポートしていくため、発展協議会の体制を継続しながら産学金官連携を一層強化する必要があるが、海外でのアンテナショップ支援については見直しを行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	012300	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中小企業海外展開支援事業		所属名	経済観光部 企業立地・支援課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2102	工業の振興			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		32件	75件	運営方法	補助金交付
	企業誘致の数		2件	20件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中小企業海外展開支援事業			予算事業コード	01-06-01-02-32-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内に本社を有する中小企業者
意図 (どのような状態 にするために)	販路拡大及び生産規模拡大を行い、本市産業の活性及び雇用の維持・拡大を図る。
手段 (どうするのか)	海外の事業拠点の開設をする事業の初期費用の一部を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①補助制度パンフレットへの掲載 ②補助金の交付 ③補助事業の見直し	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	
	年度別実績	①補助制度パンフレットへの掲載 ②補助金の交付 1社 1件 ③補助事業の来年度以降休止決定	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	240	0	0	0	0	
	直接経費 A	240	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	240	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	事業実施企業数	件	目標	2	0	0	0	0	
				実績	1	0	0	0	0	
	(指標の説明) 単年度あたりの補助金利用企業数。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 誘致・支援係 0857-20-3223</p> <p>【10次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P130（経042）</p> <p>【事業の概要】 対象者：市内に本社を有する中小企業者で、製造業、道路貨物運送業、倉庫業 梱包業、自然科学研究所、機械設計業 対象経費：賃借料（オフィスの賃借に要する経費） 対象期間：事業開始から起算して12か月以内 補助金額：対象経費の1/2 限度額：30万円</p> <p>【事業の成果】 平成26年度 0件 平成27年度 0件 平成28年度 1件</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度から補助事業を開始し、補助金パンフレットに掲載・企業訪問にて制度説明を行ったが、平成28年度までの3年間に1件の活用しかなかった。近年、製造業では海外製造していたものを国内回帰させる動きもあり、本市においても製造能力向上のための設備投資支援の方が求められている状況から、本補助金は一時休止と考へ、平成29年度は予算要求していない。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	事業実施企業数	50%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	企業訪問・補助金パンフレットによる制度紹介で補助金活用が1社あった。制度創設から3年間を振り返り、補助事業を休止することとした。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	補助金活用が1件のみとなった。海外にすでに工場等を持っている企業が当該工場を拡大したい等の声はあったが、新規拠点の後押しをしている当該補助金の要件に合わず、製造業には国内回帰の動きもあり、制度の見直しが必要。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 補助金パンフレットへの掲載や企業訪問にて制度の周知をしてきたが、企業からの活用がほとんどなかった。市内企業は人材不足と低い労働生産性が問題となっており、それらの解消のために予算を集中させたい。そのため、29年度以降は事業を休止する。市内企業のニーズに注力しつつ、海外展開の要望が再び出てきた際に、再検討を行う。		